

1. 出題範囲

- 「 2. 介護における尊厳の保持・自立支援」から
- 「 9. こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。

2. 出題形式

筆記試験：三肢択一方式、正誤問題とする。

3. 出題数と配点方法

- 択一問題 10 問 (1 問 × 4 点)
- 正誤問題 15 問 (1 問 × 4 点)

全問正解：100 点

4. 合否判定基準

- 70 点以上とする。

5. 不合格になったときの対応方法

- 結果発表後、1 時間の補講のうえ再試験・再評価を行う。
なお再試験・再評価に係る合格基準は 70 点とする。
- 補講・再試験・再評価を最大 5 回まで実施する。
なお、再試験・再評価の結果、不合格であった者には、個別指導を行い、最終試験及び論文提出により、評価を行う。